2026 年 10 月 23 日

情報公開文書

以下の研究にご協力いただいた皆様へ

「オーダーメイドヘルスケアのための生活習慣病危険因子および運動行動、摂食行動における遺伝的要因の解明」研究期間：2009 年 3 月～2027 年 3 月）
「生活習慣病やアレルギー疾患の新しい予防法確立に資する健康な日本人の腸管免疫と腸内細菌データベースの構築に関する疫学研究」（研究期間：2015 年 9 月～2030 年 3 月）
「腸内細菌叢と生活習慣病発症の関連に関する研究」（研究期間：2017 年 1 月～2019 年 5 月）
「生活習慣と常在微生物叢の関連に関する研究」（研究期間：2017 年 8 月～2031 年 5 月）
「腸内細菌叢とその代謝産物におけるデータベース構築」（研究期間：2017 年 11 月～2027 年 3 月）
「南魚沼市における微生物叢と生活習慣病発症に関する研究」（研究期間：2018 年 4 月～2028 年 3 月）
「腸内環境に関するコホート研究」（研究期間：2018 年 5 月～2023 年 3 月）
「周南市における微生物叢と生活習慣病発症に関する研究」（研究期間：2018 年 5 月～2028 年 3 月）
「皮膚の健康と常在微生物叢の関連に関する研究」（研究期間：2018 年 5 月～2028 年 3 月）
「食用油と腸内環境に関するコホート研究」（研究期間：2018 年 8 月～2028 年 3 月）
「食生活と微生物叢の経時的変化に関する研究」（研究期間：2018 年 11 月～2028 年 3 月）
「生活習慣病一次予防に必要な身体活動量・体力基準値策定を目的とした大規模介入研究の追跡調査のデータ解析」（研究期間：2019 年 5 月～2030 年 3 月）
「栄養成分と腸内環境の関連に着目したコホート研究」（研究期間：2019 年 11 月～2026 年 2 月）
「食事介入と腸内環境に関する研究」（研究期間：2020 年 6 月～2026 年 2 月）
「岩木地区住民における腸内細菌叢メタゲノム解析およびこれに基づく疾患予兆法と予防法の開発」（研究期間：2020 年 10 月～2027 年 6 月）
「長門市の壮年・高齢期における腸内フローラ組成を指標とした健康づくりに関する実態調査」（研究期間：2020 年 11 月～2030 年 3 月）
「ワクチン接種と常在微生物叢の関連に関する研究」（研究期間：2020 年 11 月～2025 年 3 月）
「生活習慣と腸内環境に関する観察研究」（研究期間：2021 年 3 月～2030 年 3 月）
「眼疾患と常在微生物叢の関連性に関する観察研究」（研究期間：2021 年 5 月～2028 年 3 月）
「時間軸に着目した健康管理システムの創出(食後の血糖変動に着目した研究)」（研究期間：2021 年 5 月～2029 年 3 月）
「生活習慣変動が腸内細菌叢と代謝物に及ぼす影響：N-of-1 交差介入試験」（研究期間：2021 年 9 月～2025 年 3 月）*延長申請中
「沖縄県北部地区住民における健康調査およびこれに基づく疾患予兆法と予防法の開発」（研究期間：2021 年 11 月～2033 年 3 月）
「大学生アスリートにおける腸内細菌叢の違いが貧血状態、競技レベル等に与える影響」（研究期間：2021

年 11 月～2030 年 3 月）
「腸内環境の統合解析に関する研究」（研究期間：2022 年 2 月～2031 年 3 月）
「ヒトの消化吸収率に着目したエネルギーバランスの変動要因に関する研究」（研究期間 : 2022 年 2 月～2028 年 3 月）
「大学女性選手における減量経験、エネルギー不足が血中ホルモン濃度、腸内細菌叢に与える影響」（研究期間：2022 年 3 月～2030 年 3 月）
「腸内環境と生活習慣に関する調査」（研究期間：2022 年 3 月～2027 年 3 月）
「健都周辺における腸内環境と生活習慣に関する疫学調査」（研究期間：2022 年 5 月～2027 年 3 月）
「腸内細菌叢と乳癌の関係に関する研究」（研究期間：2022 年 12 月～2027 年 3 月）
「日本人の身体活動・身体組成・身体機能と腸内環境・生体指標との関連についての調査」（研究期間：2023 年 1 月～2026 年 3 月）
「兵庫県地域における生活習慣と腸内環境に関する研究」（研究期間：2023 年 3 月～2028 年 3 月）
「山梨県地域における腸内環境と生活習慣に関する疫学研究」（研究期間：2023 年 3 月～2028 年 3 月）
「若年女性におけるエネルギー消費量の評価と体格を形成する要因の検討」（研究期間：2023 年 4 月～2026 年 3 月）
「日本人 2 型糖尿病患者の自己申告による食事評価の申告誤差とその関連要因の検討」（研究期間：2023 年 6 月～2027 年 12 月）
「小児消化器・呼吸器・神経疾患の遺伝・環境要因の探索的研究」（研究期間：2023 年 9 月～2028 年 3 月）
「摂食速度がヒトの消化吸収率に及ぼす影響」（研究期間：2023 年 12 月～2028 年 3 月）
「早稲田大学校友を対象とした身体活動・座位行動の健康影響および決定要因の解明（WASEDA’S Health Study「コホート D」コース)」（研究期間：2023 年 12 月～2028 年 11 月）
「エネルギーバランスの変動要因である消化吸収率の個人差の検討（性別と加齢による影響に着目）」（研究期間：2024 年 9 月～2029 年 3 月）
「地域在住高齢者の身体・認知機能に関する健康調査」（研究期間：2024 年 9 月～2027 年 3 月）
「陸上長距離走者の腸内細菌叢に関する縦断的観察研究」（研究期間：2024 年 11 月～2027 年 4 月）
「栄養素構成比率の変動が生体指標に及ぼす影響」（研究期間：2024 年 12 月～2028 年 3 月）
「新生児やその家族、医療スタッフの腸内環境・生活習慣と新生児疾患の関連についての探索的研究」（研究期間：2026 年 4 月～2031 年 3 月）
「甘酒摂取による腸内細菌叢と代謝物の変化に関する研究」（研究期間：2025 年 4 月～2030 年 3 月）
「腸内環境の分析法に関する研究」（研究期間：2023 年 7 月～2028 年 3 月）
「ヒト便サンプルを用いた腸内細菌の培養と解析」（研究期間：2025 年 6 月～2030 年 3 月）
上記の各研究にご提供頂いた試料から得られたデータ、ならびにご提供頂いた情報をデータベース化するとともに、統合して解析を行うことを計画しております。基本的に、試料とそれに付随する情報を一体として収集しますが、試料の入手が困難な場合には、情報のみを収集するものとします。情報のデータベース化にあたっては、外部の事業者に一部の作業を委託します。その概要を記載いたしますので、ご質問・ご相談等がございます場合、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。ご自身が提供された試料か

ら得られたデータ・情報をデータベース化、統合解析に用いてほしくないと思われました場合にも、お問い合わせ先までお申し出ください。提供者ご本人あるいはその代理人からお申し出いただいた場合は、データベース化、統合解析に使用いたしません。

1．研究課題名

腸内細菌等の研究に関するデータのデータベース化、残余試料を用いた追加解析および統合解析

2．研究責任者

水口 賢司（2021 年 3 月 30 日～2024 年 3 月 17 日）現所属: 大阪大学 蛋白質研究所

荒木 通啓（2024 年 3 月 18 日～2024 年 12 月 11 日）現所属: 立命館大学 薬学部

夏目やよい（2024 年 12 月 12 日～2026 年 9 月 ）医薬基盤･健康･栄養研究所 AI 健康･医薬研究センターセンター長

李 秀栄(2026 年 10 月～) 医薬基盤･健康･栄養研究所 AI 健康･医薬研究センター 副センター長

3．本研究課題の目的

人の腸内には、およそ 1,000 種類、100 兆個もの細菌等の微生物が生息しているといわれています。これらの微生物は腸内だけでなく、人の体全体に様々な影響を及ぼし、健康状態や肥満・糖尿病・高血圧等の生活習慣病の発症に密接に関わっていると考えられています。一方で、これまでの研究から腸内細菌は個人差によるばらつきが非常に大きいことが明らかになってきています。私たちはこれまでに皆さんのご協力のもと、多くの研究テーマにおいてデータの解析を行ってきましたが、これらの解析結果を、それぞれの研究テーマの中だけでなく、他の類似の研究と広く共有することによって、これまでに明らかになっていなかった新しい知見が得られる可能性があります。そこで、私たちは皆さんからご提供頂いた試料を解析して得られたデータ、ならびにご提供頂いた情報を、匿名化した上でデータベース化し、これらのデータを統合して解析したいと考えています。また、ここで作成したデータベースは、今後行われる類似の研究において貴重な参照データになると考えられます。私たちは、そこから、新しい病気の予防法や病気の制御を行う方法を見出すことにつなげていきたいと考えています。

4．対象となる方の試料・情報の収集期間および研究期間

ご協力くださいました研究から得られたデータ、ならびにご提供頂いた情報を対象としますが、今後、さらに他の研究において提供された情報を合わせてデータベース化および統合解析に用いることがあります。本研究課題の研究期間は 2030 年 3 月 31 日までですが、延長されることがあります。これらの変更の場合には、研究倫理審査委員会の承認のもとで行います。

5．データベース化する情報

以下に示す情報をデータベース化します。なお、一部の研究で取得した皆さんのゲノム情報はデータベース化されません。

年齢、性別、居住地（実際の居住地ではなく参加した研究ごとにサンプル採取地を居住地として

扱います)、サンプル採取日、参加した研究からなる基本情報
身長、体重等の身体情報ならびに健康診断情報等
被験者間の家族関係の情報
質問票による食事調査の情報ならびにそこから計算された摂取栄養素の情報、身体活動、生活習慣調査、病歴、服薬歴、家族の病歴等
身体活動量計による分析データ
試料（便、唾液、皮膚）中の微生物叢、微生物遺伝子の存在量のデータ
試料（便、唾液、皮膚）中の微生物遺伝子の塩基配列データ
試料（便、唾液、皮膚、血液、呼気等）中の代謝物、生理活性物質、免疫因子等の分析データ
介入条件と関連する背景情報（介入研究の場合）
疾患名と関連する背景情報（症例対照研究の場合）
菌叢解析実施機関

6. データベース化の作業を一部外部委託することについて

皆さんからご提供頂いた試料を解析して得られたデータ、ならびにご提供頂いた情報をデータベース化するにあたり、外部の事業者に一部の作業を委託します。この事業者には、秘密保持契約を締結した上で匿名化後の情報のみを提供し、データベース化後、その情報は速やかに削除されます。

7. この研究に関する情報公開

この研究の概要については以下のウェブページにて情報公開されます。
https://microbiome.nibn.go.jp/

8. データベースの公開

データベース化した情報のうち、年齢、性別、居住地、サンプル採取月からなる基本情報、質問票等による食事調査の情報ならびにそこから計算された摂取栄養素の情報、試料（便、唾液、皮膚）中の微生物叢、微生物遺伝子の存在量のデータ、および論文等で公開済みの情報は、公開されだれでも閲覧可能となります。なお、個人が特定されないようにするため、年齢は同一研究、同一性別の中で 5 人以上となるようにグループ化し、その年齢範囲を公開します。また、居住地としてサンプル採取地の市区町村名を公開します。

9. 情報の外部機関への提供について

皆さんからご提供いただいた試料を解析して得られたデータ、ならびにご提供頂いた情報は、研究倫理審査委員会の承諾を得て、外部の共同研究機関に提供されることがあります。ご自身が提供された情報を外部機関に提供してほしくないと思われました場合には、下記問い合わせ先までお申し出ください。提供者ご本人あるいはその代理人からお申し出があった場合には、情報の提供を停止します。

10. 残余試料の二次利用について

皆さんからご提供いただいた試料（便、唾液、皮膚、血液、呼気、眼、膣、尿）の残余分については、二次利用の同意が得られた場合関連する研究のために利用することがあります。残余試料の二次利用を望まれない場合には、下記問い合わせ先までお申し出ください。提供者ご本人あるいはその代理人からお申し出があった場合には、二次利用をいたしません。

11. お問い合わせ先

医薬基盤・健康・栄養研究所 AI 健康・医薬研究センター
李 秀栄
〒566-0002 大阪府摂津市千里丘新町 3-17-302
電話 06-6384-1574

「2026 年 10 月 23 日変更　研究課題名の変更、研究責任者の変更、共同研究実施期間の修正、共同研究課題の追加、残余試料の二次利用に関する記載を追加」